

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会  
第72回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

- 1 日時 2017年08月23日(水) 13:30~16:00
- 2 場所 5 東洋海事ビル D会議室
- 3 出席者(順不同, 敬称略)
- (出席委員) 新堀部会長, 高橋副部会長, 上田, 大久保, 片岡, 川上(途中から入室), 久保, 熊崎, 斉藤(途中から退室), 坂下, 白井, 田中, 深澤, 藤田, 柳原, 山本(16名)
- (代理委員) 吉原恒一(原子力安全推進協会/川上)(途中から退室), 木原伸二(原子力損害賠償・廃炉等支援機構/加藤), 仙波毅(原子力安全推進協会/田村), 廣瀬恵美子(東芝/小畑), 山本武志(電中研/小山)(5名)
- (欠席委員) 木倉, 中島, 古谷(3名)
- (委員候補) 大間知行(日本原燃)(1名)
- (代理常時参加者候補) 岩永真治(国土交通省 海事局/緑川和徳)(1名)
- (代理常時参加者) 井上亮(原子力規制庁/吉居)(1名)
- (説明者) 【原子燃料サイクル専門部会】新堀部会長, 【LLW放射能評価分科会】北島幹事, 尾崎委員, 【LLW廃棄物等製作・管理分科会】梅原幹事, 田中委員(5名)
- (事務局) 中越, 谷井(2名)

4 配付資料

- FTC72-0 第72回原子燃料サイクル専門部会議事次第(案)
- FTC72-1 第71回原子燃料サイクル専門部会議事録(案)
- FTC72-2 人事について
- FTC72-3-1 “中深度対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順”改定の原子燃料サイクル専門部会決議投票結果について
- FTC72-3-2 “中深度対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順”改定の原子燃料サイクル専門部会決議投票で受付けた意見への対応表
- FTC72-3-3 “中深度対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順”改定前後比較表
- FTC72-4-1 “トレンチ対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法:2010(AESJ-SC-F021:2010)”及び“余裕深度処分対象廃棄物の製作要件及び検査方法:2015(AESJ-SC-F014:2010)”の誤記チェックに関する標準委員会コメント対応の審議の結果
- FTC72-4-2 “トレンチ対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法:2010(AESJ-SC-F021:2010)”及び“余裕深度処分対象廃棄物の製作要件及び検査方法:2015(AESJ-SC-F014:2010)”の誤記チェックに関する標準委員会コメント対応の審議で受付けた意見への対応表
- FTC72-5 分科会活動状況
- FTC72-6 (提案)標準委員会専用サーバの今後について

参考資料

- FTC72-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
- FTC72-参考2 標準委員会の活動状況

## 説明資料

- FTC72-説明-1-1 標準委員会 倫理規程の周知徹底活動 倫理規程について
- FTC72-説明-1-2 標準委員会 倫理規程の周知徹底活動 倫理規程事例 東日本大震災における原子力分野の事例に学ぶ技術者倫理
- FTC72-説明-1-3 標準委員会 倫理規程の周知徹底活動 行動指針について 2017 年度
- FTC72-説明-2 原子力学会の行動指針
- FTC72-説明-3 日本原子力学会倫理規程
- FTC72-説明-4 標準委員会活動基本方針

## 5 議事内容

事務局から開始の時点で委員 23 名中、代理委員を含め 20 名の出席があり、成立に必要な委員数（16 名以上）を満足している旨報告された。

### (1) 前回議事録の確認 (FTC72-1)

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

### (2) 人事について (FTC72-2)

配付資料 FTC72-2 に基づいて、専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり、委員退任等が確認され、審議の結果、委員選任等が決議された。

#### 【専門部会】

##### 1) 委員退任の確認

伊藤 真澄（国土交通省 海事局）

熊谷 守（日本原燃）

##### 2) 委員選任の決議

大間 知行（日本原燃）

##### 3) 常時参加者登録承認の決議

緑川 和徳（国土交通省 海事局）

#### 【分科会】

##### 1) 委員退任の確認

#### 【LLW 放射能評価分科会】

黒澤 正彦（東芝）

##### 2) 委員選任の承認決議

#### 【リサイクル燃料貯蔵分科会】

高橋 忠克（原燃輸送）

#### 【LLW 放射能評価分科会】

廣内 崇幸（東芝）

3) 常時参加者登録承認の確認

【リサイクル燃料貯蔵分科会】

村松 誉与（東洋エンジニアリング）

山後 誠（原燃輸送）

(3) 【説明事項】

原子力学会で定めた行動指針と倫理規程に関する周知について

1) 原子力学会の行動指針と倫理規程について（FTC72-説明-1-1, FTC72-説明-1-2, FTC72-説明-1-3, FTC72-説明-2, FTC72-説明-3）

原子燃料サイクル専門部会の新堀部会長から FTC72-説明-1-1, FTC72-説明-1-2, FTC72-説明-1-3, FTC72-説明-2, FTC72-説明-3 に基づいて“原子力学会の行動指針と倫理規程”について説明があった。

2) 標準委員会活動基本方針について（FTC72-説明-4）

原子燃料サイクル専門部会の新堀部会長から FTC72-説明-4 に基づいて“標準委員会活動基本方針”について説明があった。

受講者：高橋，上田，大久保，片岡，川上，久保，熊崎，斉藤，坂下，白井，田中，深澤，藤田，柳原，山本，大間（16名）

未受講者：木倉，中島，古谷，加藤，田村，小畑，小山（7名）

(4) 【報告・審議】“中深度対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順”の改定についての原子燃料サイクル専門部会の決議投票結果及びその対応について（FTC72-3-1, FTC72-3-2）

事務局から FTC72-3-1 に基づいて“中深度対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順”の標準改定原案が原子燃料サイクル専門部会の決議投票で可決されたことが報告された。

引続き，LLW 放射能評価分科会の北島幹事，尾崎委員から FTC72-3-2 に基づいて決議投票で受付けた意見への対応案について報告があった。対応案について審議した結果，対応案は編集上の修正であること及び対応案を標準委員会で報告することが決議された。

主な質疑等は以下のとおり。

Q. 附属書 K の母分散の推定に対する補足説明の追記（修正案）において，“保守的に”との表現は必要ないのではないか。

A. 拝承。“保守的に”を削除する。

Q. 附属書 D の表中の平均値+ $2\sigma$  の記載について，検出値が少ない場合（表 D. 5）のみ修正しているが，ND 値しかない場合（表 D. 6）も ND 値の多い／少ないで保守性に対する考え方を変えるべきではないか。

A. 拝承。表 D. 6 についても，表 D. 5 と同様の修正を行う。

Q. 出典元の図に記載されている“自然界”の用語を，注記をした上で“鉱物・岩石など”に置き換えているが，問題ないのか。

A. 他の標準ではあるが、過去に同様の対応を図ったことがある。また、出典元には転載許諾時に確認を行う。

(5) 【報告・審議】 “トレンチ対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法：2010 (AESJ-SC-F021：2010)” 及び “余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法：2015 (AESJ-SC-F014：2010)” の両標準の誤記チェックに関する標準委員会コメント対応の審議の結果及びその対応について (FTC72-4-1, FTC72-4-2)

事務局から FTC72-4-1 に基づいて “トレンチ対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法：2010 (AESJ-SC-F021：2010)” 及び “余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法：2015 (AESJ-SC-F014：2010)” の両標準の誤記チェックに関する標準委員会コメント対応案が審議で可決されたことが報告された。引続き、LLW 廃棄体等製作・管理分科会の梅原幹事、田中委員から FTC72-4-2 に基づいて審議で受付けた意見への対応案について報告があった。対応案について審議した結果、対応案の正誤表を標準委員会で報告することが決議された。

主な質疑等は以下のとおり。

C. 標準委員会コメント対応表において、本日、資料には記載されていない内容で、口頭説明があった箇所（岡本委員コメントへの対応等）については、資料に反映しておくこと。

A. 拝承。

(6) 【報告】 原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況について (FTC72-5)

事務局から FTC72-5 に基づいて原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況について報告があった

(7) 【提案】 (提案) 標準委員会専用サーバの今後について (FTC72-6)

事務局から FTC72-6 に基づいて標準委員会専用サーバの今後について提案があった。

(8) その他

次回第 73 回原子燃料サイクル専門部会は、11 月 21 日（火）13:30 から開催することとなった。

以上